

# セルトラリン「トーフ」を服用されている方とご家族の方へ

この薬を服用する際には、以下のことに注意してください。

## 薬の効果について

- この薬は、効果があらわれはじめるまである程度日数がかかることがあります。十分な効果を得るために、ご自分の判断で飲むのをやめたり、量を減らしたりせず医師の指示通りに飲み続けてください。

## 薬の服用について

- この薬は、徐々に飲む量を増やしながら、患者さんに必要な量を調整していきます。症状を改善するためには、決められた量の薬を続けて服用することが大切です。
- この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を減らしたりすると、些細なことでも心配になる、いらいら、あせりなどの症状があらわれることがあります。指示通りに飲み続けることが重要です。

## 気になる症状がある場合は

- 薬の飲みはじめに吐き気、下痢などの副作用があらわれることがありますが、多くはしばらくするとおさまります。症状が辛い場合は、自己判断で薬の服用をやめずに、担当の医師に相談してください。この他にも気になる症状があらわれた場合は医師、薬剤師にご相談ください。



## 18歳未満の患者さんの服用に関する注意点

- 6～17歳のうつ病性障害、外傷後ストレス障害のある人がこの薬を飲んだ場合、有効性が確認できなかったという報告があります。18歳未満のうつ病性障害のある人は、医師と十分に相談してください。

## 服用中に注意する症状について

- うつ病やうつ状態の人は死んでしまいたいと感じることがあります。  
この薬を飲んでいる間、特に飲みはじめや飲む量を変更した時に、不安感が強くなり死にたいと思うなど症状が悪くなることがあるので、このような症状があらわれた場合には、医師に相談してください。
- 不安になる、いらいらする、あせる、興奮しやすい、発作的にパニック状態になる、ちょっとした刺激で気持ちや体の変調を来す、敵意を持つ、攻撃的になる、衝動的に行動する、じっとしていることができない、などの症状があらわれることがあります。これらの症状があらわれた場合には、医師に相談してください。  
この薬との関連性は明らかではありませんが、これらの症状があらわれた人の中には、うつ症状などのもともとある病気の症状が悪化する場合や、死んでしまいたいと感じたり、他人に対して危害を加えたりする場合があります。

## ご家族の方のサポート

- ご家族の方は、死にたいという気持ちになる、興奮しやすい、攻撃的になる、ちょっとした刺激で気持ちの変調を来すなどの患者さんの行動の変化やうつ症状などのもともとある病気の症状が悪化する危険性について医師から十分に理解できるまで説明を受け、患者さんの状態の変化について観察し、変化がみられた場合には、医師に連絡してください。  
また、患者さんご自身も病状に変化があったと感じた場合には、ご家族の方にも伝えるようにしてください。

## その他の注意

- この薬は、患者さんご自身に処方された薬です。他の人にあげたり、もらったりしないでください。
- この薬は、眠気・めまいなどがあらわれることがあります。薬を飲んだ後は自動車の運転など危険を伴う機械の操作は避けてください。
- 他の薬を飲んでいる場合は、薬局・薬店で買った薬も含め、医師または薬剤師に相談してください。